

重要人事について

以下の人事異動についてお知らせします。

2023年9月1日付人事異動

	新職名	旧職名
イリヨン・パク (Ilyong Park)	会長 兼 CEO (引き続き、エア・リキード 北東アジア太平洋地域 バイスプレジデントを兼任)	会長

※ 現 社長 兼 CEO ヴィルジニー・キャヴァリは、エア・リキード グループ内で新しい職責に就くこととなります。

略歴

韓国の重工業会社に3年勤務した後、2001年、エア・リキード グループに入社。エア・リキード・アメリカでeビジネスマネージャーを務めた。

2003年から2009年まで、ソウルを拠点に、エア・リキード・コリアのインダストリアル・マーチャント・ビジネスユニットのディレクターを務め、韓国のマネジメントメンバーとして事業に貢献。

2009年から2011年まで、東京を拠点に、アジア・パシフィック バイスプレジデント付特命担当として、M&Aをはじめとする様々な特別プロジェクトを担当。

2011年から2014年まで、マニラを拠点にエア・リキード・フィリピンの社長 兼 CEOに就任。

2014年から、エア・リキード・コリアの化学、石油・ガス、金属産業を担当するラージ・インダストリーズ事業部のバイスプレジデントを務めた。

2015年から2019年まで、ソウルを拠点に、エア・リキード・コリアの代表取締役社長として、産業および医療分野の事業を統括。

2020年1月から日本、韓国、オーストラリア、ニュージーランドのガスおよびサービス関連会社をするノースイースト・アジア・パシフィック クラスターのバイスプレジデントを務めている。また、日本を含むクラスター内の主要会社の会長を兼任。

2023年9月1日、日本エア・リキード合同会社 会長 兼 CEOに就任。

MITで機械工学の修士号、ソウル大学校で航空宇宙工学の学士号を取得。INSEADやロンドン・ビジネス・スクールにおいてエグゼクティブ・マネジメント・プログラムを修了。

お問い合わせ

日本エア・リキード合同会社 広報本部

ww-aljcommunications@airliquide.com

03 - 6414 - 6728

(報道関係資料)

写 真



日本におけるエア・リキード

日本エア・リキード合同会社 (ALJ) は1907年に創業、100年以上にわたって日本の産業の発展に貢献してきました。ALJは約2,000人の高度な技能を持つ従業員を擁し、エレクトロニクスなどの産業分野の企業に窒素や酸素を供給し、お客様と連携して問題解決や共同研究を行っています。医療においては病院向けのガス供給のほか、在宅医療分野に注力。医療従事者や患者様が必要とする新たな治療機器やIoTを活用したソリューションを開発提供しています。またエア・リキードは脱炭素・水素社会の実現に向けてグループとして世界で水素ステーションを180カ所以上設置しています。日本でも水素ステーション建設のほか、水素エネルギーのバリューチェーンを網羅するリーディングカンパニーを目指しています。業界をリードするイノベーション・技術の中核とした革新的なソリューションの提供を通じてお客様と社会の発展に貢献します。

産業と健康に技術とサービスで貢献するガス事業の世界的リーダーとして、エア・リキードは全世界73カ国で約67,100人の従業員を擁し、390万以上のお客様と患者の皆様にサービスを提供しています。酸素、窒素、水素などは、生命、物質、エネルギーに欠かせない必要不可欠な小分子であり、エア・リキードの科学領域を具現化するものとして、1902年の創業以来、当社の研究領域と事業活動の中心活動の核となってきました。

エア・リキードは、未来に備えつつ今日アクションをとることを戦略の中心に据えています。2025年までの戦略プラン「ADVANCE」により、財務的業績目標と財務を超えた取り組みを組み合わせた包括的なパフォーマンスを目指します。新しい市場をとらえ、柔軟さと強さを兼ね備えたビジネスモデル、技術知見に立脚したイノベーション力を生かしてまいります。エア・リキードは気候とエネルギー転換、とりわけ水素エネルギーに寄与するソリューションを開発し、医療、デジタル、ハイテク分野に注力してまいります。

2022年の売上高は299億ユーロを超えました。エア・リキードは、ユーロネクスト・パリ (A部) に上場されており、CAC40ならびにCAC40 ESG、EURO STOXX 50、FTSE4Good、FTSE4Good Indexの構成銘柄です。